

# 一体化の8つの視点

何を一体化するのか？

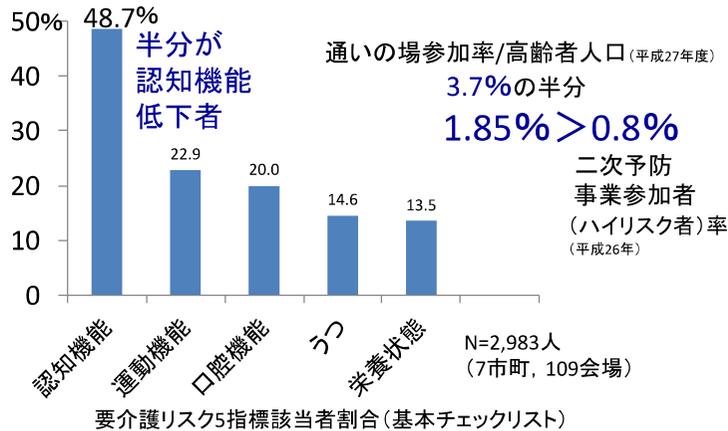
近藤克則

1. どの部局が中心？：国保・健康推進・後期高齢・介護保険担当課など
2. どの財源で？：保険（国保・後期高齢・介護保険）・一般財源
3. 何を予防する目的で？：がん・メタボ、医療費、フレイル、介護予防
4. 誰を対象者に？：65～74歳、75歳～
5. どの専門職が？：保健師・栄養士・歯科衛生士など
6. どこで？：医療機関、通いの場
7. どのアプローチで？：ハイリスク、ポピュレーション
8. どのデータをつないで？：KDB, 健診、後期高齢、介護
  - プロセスや効果の「見える化」、根拠と納得が得られるインセンティブ制度の基盤となるデータが必要
    1. どのような対象者に
    2. どのような事業を
    3. どのような内容と量で提供し
    4. どのような効果が得られたのか のすべてが必要

# 通いの場にはNCD抑制効果も？

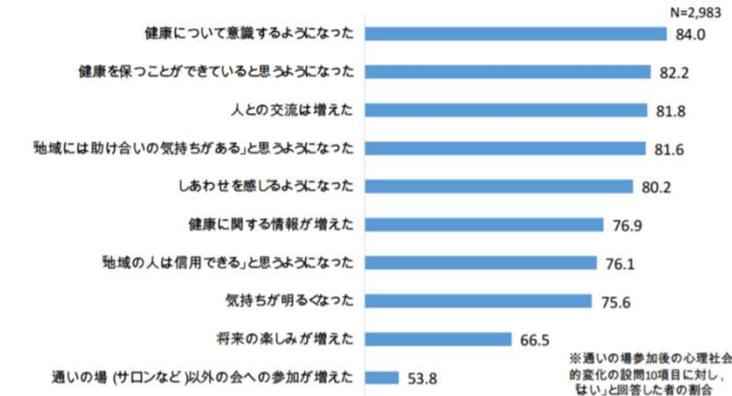
## 通いの場に参加するハイリスク者 二次予防事業より2倍以上多い

厚生労働省公表資料に基づく試算



## 通いの場参加後の心理社会的な変化

分析対象: JAGES参加7市町の通いの場109箇所の参加者3,305人のうち2,983人 (回収率90.3%)

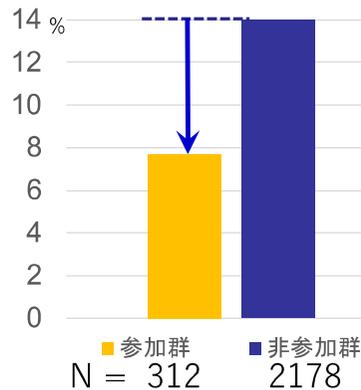


厚生労働科学研究費補助金 (H27-認知症-一般 001) 平成 28年度総括・分担研究報告書、p56

## サロン参加群で要介護認定率は半減

武豊プロジェクト

要介護認定率



2007年から2012年までの5年間の要介護認定率を参加群と非参加群で比較した

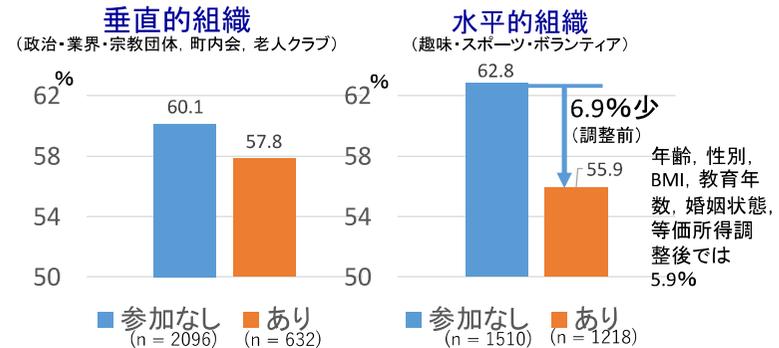
5年間で要介護認定率は約半分 (6.3%ポイント) 抑制されている

Hikichi, H., Kondo, N., Kondo, K., Aida, J., Takeda, T., & Kawachi, I. Effect of community intervention program promoting social interactions on functional disability prevention for older adults: propensity score matching and instrumental variable analyses, JAGES Taketooyo study. Journal of Epidemiology and Community Health (doi: 10.1136/jech-2014-205345)

## 社会参加群で高血圧割合は低い

趣味・スポーツ・ボランティア参加者で約6%少ない

N=4582 JAGES 2016



Aki Yazawa, Yosuke Inoue, Takeo Fujiwara, Andrew Stickley, Kokoro Shirai, Airo Amemiya, Naoki Kondo, Chiho Watanabe, Katsunori Kondo: Association between social participation and hypertension among older people in Japan: the JAGES Study. Hypertension Research, doi:10.1038/hr.2016.78